

平成 29 年 9 月 5 日

京都市立南大内小学校
校長 岩井 勝

保護者様

平成 29 年度 学校評価のまとめ<前期>

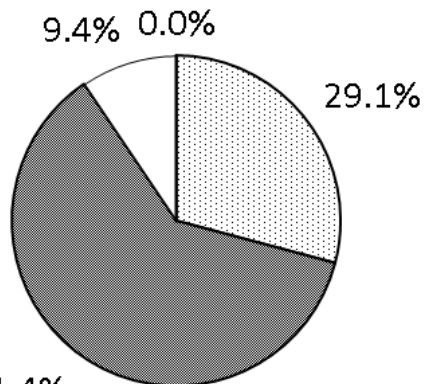
夏休みを終え、子どもたちの元気な歓声が学校に帰ってきました。保護者の皆様には、平素より本校教育推進に多大なご支援・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、6月に実施しました学校評価アンケートの集計と分析を行いました。アンケートからうかがい知ることができる保護者の皆様の声・子どもたちの声・教職員の声をもとに、計画・実行・点検・検証（PDCA）のサイクルで学校教育の充実と向上を図りたいと考えます。

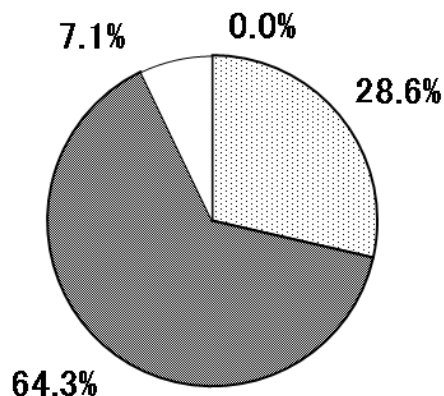
1 「確かな学力」の育成に向けて

保護者アンケート
(参観授業について)

①学習内容が わかっていた。

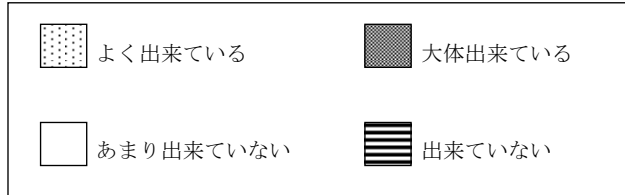


②いきいきと学習している。

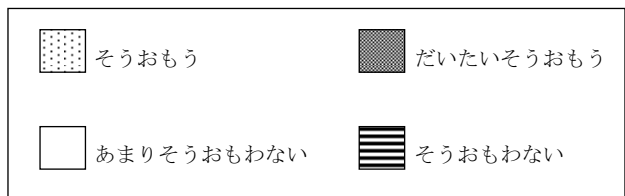


資料の見方

保護者アンケート・教職員アンケートは、以下の凡例で示しています。

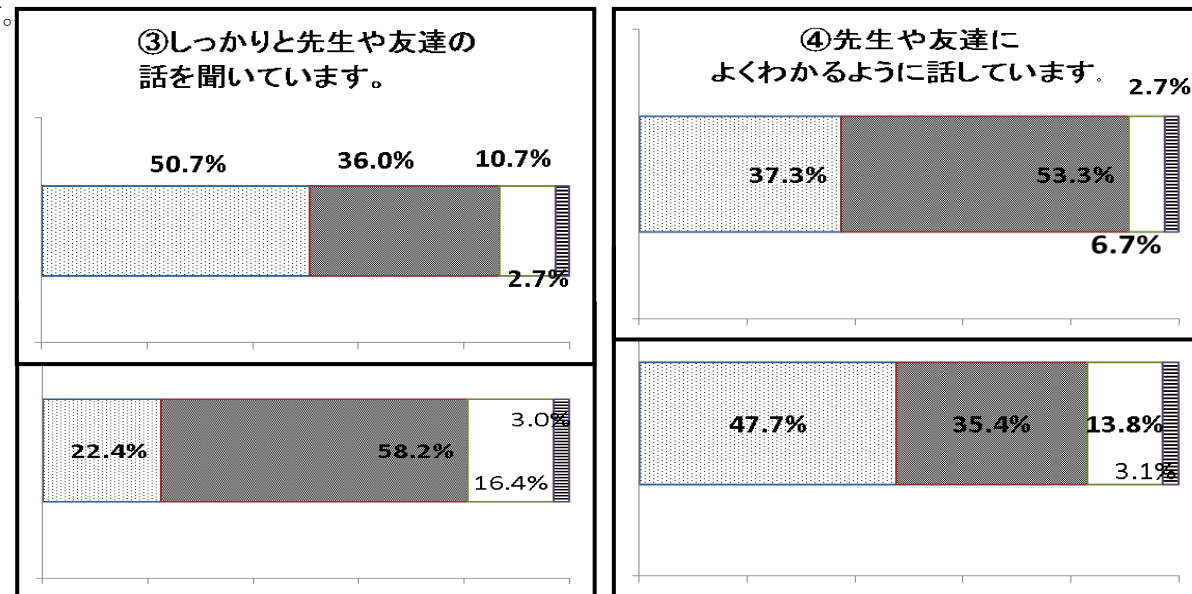


高学年児童(4~6 年)アンケート・低学年児童(1~3 年)アンケートは、以下の凡例で示しています



授業を参観していただいたとき、①②のアンケート結果のとおり、90パーセントを超える保護者のみなさんが、「学習内容がよくわかっている」「いきいきと学習している」とお答えいただいています。このことは大変ありがたいことであり、授業実践に取り組んでいるわたしたちの励みともなります。私たちはそのことに慢心することなく、さらなる授業改善に取り組んでいきたいと考えます。

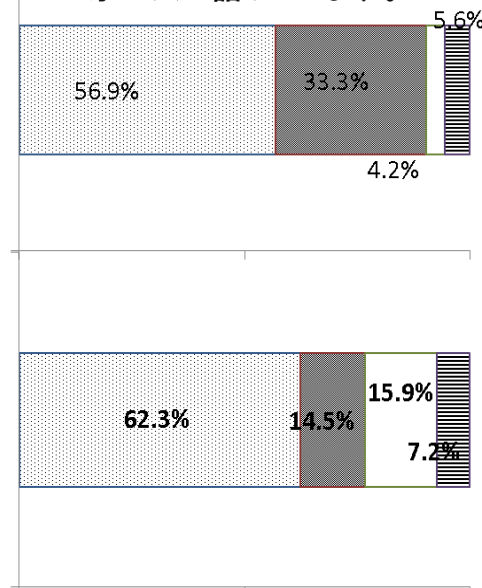
その一つのポイントとなるのが「言語活動の充実」です。③④のアンケート結果からは、子どもたち自身が自分の「聞く」「話す」活動に決して満足しているとはいえません。また、後述の保護者の皆さんの「つきたい力」についての記述からも、言語活動の充実を願っておられることがわかります。言語活動が充実すると、子どもたちはさらに学習が好きになり、学力の向上も図ることができます。すべての教科・領域の中で言語活動の充実を企図した授業ができるように努力してまいりたいと思います。



上段=高学年児童(4~6年)アンケート 下段=低学年児童(1~3年)アンケート

2 「豊かな心」の育成に向けて

⑤学校であったことは、 家の人に話しています。



アンケート結果を見ると、ほぼすべての子どもたちが「友達と仲良く遊んでいる」とこたえ、80パーセント強の子が、「学校へ行くのが楽しい」と感じています。それは南大内校がほっとできる学校であり、心の居場所が十分にあることを物語っています。しかしながら、少数であるとはいえ「友達と仲良く遊べていない」「学校へ行くのが楽しくない」と答えている子がいることも事実で、その原因はどこにあるのか個々の子どもについて考えていかねばならないと感じています。

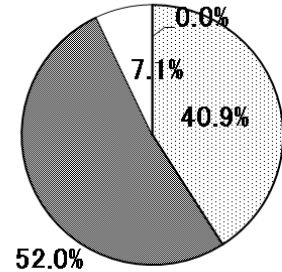
⑤のアンケートは子どもたちが悩んだときに家庭で相談できているかを表したものです。子どもも大人も悩むことはあります。そのときに、その悩みをしっかりと受け止め、一緒に解決していける大人でありたいですね。

3 「健やかな体」の育成に向けて

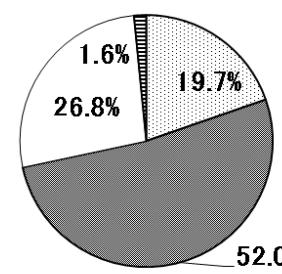
⑥⑦⑧は、「早寝・早起き・しっかり朝ごはん」についてのアンケート結果です。子どもたちの生活リズムを問う項目ですが、子どもたちも保護者の皆さんも「できている」とは答えにくい様子が見られます。さらに詳しく調べてみると、朝ごはんのほうはご家庭で協力していただき、ほぼすべての子どもたちがとることができており「早寝・早起き」のほうに課題が残るようです。子どもたちの睡眠時間を確保することは大切だとわかっているけれど、それを妨げるようなものや世相があり、なかなかうまくできませんというお声が聞こえてきそうです。携帯やスマホ・ゲームなど、学校と家庭が一緒になって解決していかなければならない問題が残っていそうですね。

保護者アンケートより

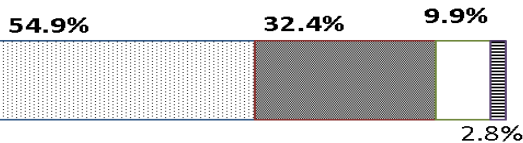
⑥しっかり朝食をとらせるように働きかけている。



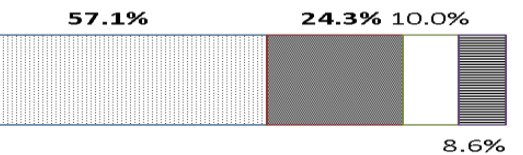
⑦「早寝、早起き」を意識して生活させるよう努力している。



⑧「早ね・早おき・しっかり朝ごはん」を心がけています



高学年(4~6年)アンケートより

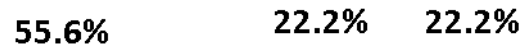


低学年(1~3年)アンケートより

4 学校独自の取組について

⑨子どもたちは地域やPTAの行事に積極的に参加している。(子ども)

教職員アンケートより



やPTAの皆さんが毎日の登下校を見守ってくださる取組も進めていただいています。子どもたちと一緒に「地域」の良さを見つめなおしたいですね。

南大内校では、唐橋小学校・八条中学校と連携を取りながら取組を進めています。それは子どもたちがこれから生きていく「地域」をよく知り、「地域を誇れる子」に育てていきたいからです。そこで、地域やPTAの行事に積極的に参加するように働きかけています。そのことについてのアンケート結果は以下の通りです。学校でも、2年生・3年生のまち探検をはじめ総合的な学習の時間での「東寺学習」など様々な取組を進めていますし、地域

5 「今、子どもたちにどのような力」をおたずねしました。(自由記述)

「確かな学力」にかかわる力

自立して与えられる人間を目指す力 お互いを励ましあってともに伸びていこうとする力 勉強・遊びを通して様々なことに楽しさや面白さを知ってほしい 学習する意識・意欲・姿勢 「姿勢を正して先生のお話をしっかり聞く」「発表したいときは手をあげてから発言する」「友達の発表などもちゃんと聞く」などの基本的なこと 聞く(聴く)力 人の話をしっかりと聞く力 得意なことを見つけて、それを伸ばし、「自信を持つ」力と心 集中力 集中・根気・協力 時間を意識して行動する 努力 忍耐力 継続する力 やり抜く力 出来ないことも頑張ろうとする力 出来る出来ないは別にしておきらめない力をつけてほしい 人の目を見て話を最後まで聞く 継続すること 苦手なことを努力して取り組む 応用力 改善すべき点に気付き、工夫や提案をする力 言語力 理解力 学力 自分から考えることができる習慣づけ 自分で考えられる力 やる気 注意力・思考力 学習面での応用力をつけたいです。

「豊かな心」にかかわる力

誰とでも仲良く遊べる力 嫌な時に友達にいやと言える力 自分を大切に他人(友達)を大切にすること 相手の気持ちを考える力 コミュニケーション力 人を思いやるやさしい気持ち 感謝の心 何が真実か自分で見抜く力 自分で考えることができる習慣づけ 自分から進んでやるべきことをやる力 個性を認めあえる環境(型にはまった教育しかできていないように見える) 自ら考える力 やさしく親切に よく考え行動する 相手を思いやる気持ち 自分の思いを伝える力 相手の気持ちを考える力 自分の思いを言葉できちんと伝える力 思いやり 礼儀(こちらから声をかけても「こんにちは」「ありがとう」など基本的な挨拶ができていない子が多い) 気遣い いたわり 言葉づかい 積極性・協調性 トラブル回避

「健やかな体」にかかわる力

体力 食事のマナーにも力を入れていただけたらありがたいなあと思います。持久力 粘り強く立ち向かう精神力 継続力・努力・忍耐力

保護者の皆さんが、子どもたちにどのような力をつけたいとお考えになっているのかを自由記述でお答えいただきました。ご回答を整理する中で感じたのは、保護者の皆さんが「子どもたちの将来にわたって生きて働く力」を育てたいと願っておられることです。そのような力を育てるためには、私たち教職員と保護者の皆さん・地域の皆さんが、同じ目標を持って粘り強く取り組むことが不可欠だと考えます。毎日の繰り返し、不断の取組が、子どもたちに「生きる力」を育てていきます。

学校評価アンケートでいただいた皆様のお声をもとに、さらに取組を進めてまいりたいと存じます。これからもご協力賜りますようよろしくお願いいたします